

まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。

☆役場総務企画課まで（電話 72・0331）

日野産和牛を全国へ

町和牛部会総決起大会

今年10月11日から14日に鳥取県で開かれる「第9回全国和牛能力共進会」に向けて、町和牛部会（松本勝美会長）の総決起大会が12月8日、リバーサイドひので開かれ、部会員やJA、県・町関係者らが出席しました。

大会では、松本会長が「これまで取り組んできた和牛改良の成果が、全国共進会でどこまで通用するのか挑戦したい」とあいさつし、出席者全員で共進会に向けて団結することを誓い合いました。

日野町では、和牛部会、農協、町との連携のもと、早くから和牛の改良に取り組んでおり、県内ではトップクラスのせり成績をおさめています。現在、和牛のオリンピックともいわれる全国共進会への出品牛の選定が進められています。皆さんの声援をお願いします。



集会には約50人が出席、和牛振興をアピール



共進会のマスコット「とりモー」

この冬を乗り切って

保育所にもちをプレゼント

子どもたちに元気で冬を過ごしてもらおうと、12月11日、町内の保育所へ日野国際交流協会（小谷博徳会長）から手づくりのもちがプレゼントされました。

このもちは、同協会の会員が前日についた白もちと、かぼちゃ、紫いも、にんじん、ほうれんそうを練りこんだ計5種類のカラフルなもの。

園児は小谷会長らからもちを受け取り、当日のおやつの時間にみんなで味わいました。



もちを食べて風邪をひかない元気な体を

まちの味覚どっさり

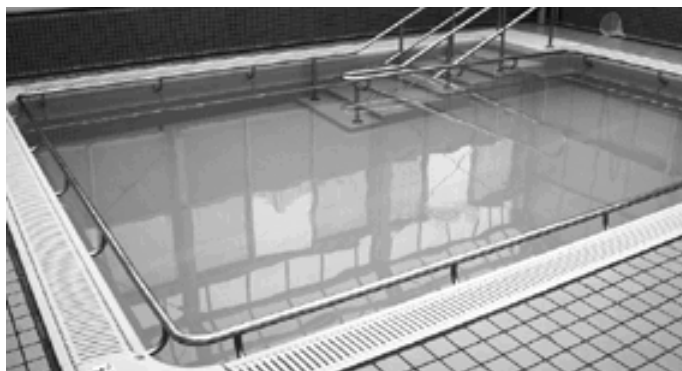
「ふるさと便」全国へ発送

町外に住む人たちに、日野町の特産品などを届ける「ふるさと便」の発送作業が、12月22日、山村開発センターで行われました。

これは、ニコンコ朝市グループ（遠藤初枝代表）が長年続けて行っているもので、この日は、約200個のダンボール箱に、コシヒカリ、もち、しいたけや加工品などが会員らの手によっていねいに箱詰めされ、全国各地へ発送されました。



ふるさとの味を届けます



広さ約 30 平方メートル、ボイラー式の温水プール



地元住民らがそろって出席

地域住民の健康づくりに

下黒坂地区温水プール竣工

下黒坂ふれあい会館（下黒坂）隣りに、温水プール施設が完成し、12月16日、竣工式が開かれました。式には、下黒坂地区住民、関係者ら約50人が出席し、町内初の温水プールの誕生を祝いました。

プールは幅約5メートル、長さ約6メートルで、深さは1・2メートル。高齢者をはじめ、地域住民が定期的に水中ウォーキングや水中運動を楽しむことにより、足など体の筋力アップ、体力づくりを図り、高齢者の機能回復、住民の健康づくりに役立てることを目的に建設されました。

施設は透明プラスチック張り、日光浴などを兼ねた休憩・コミュニケーションの場としての活用も期待されます。

管理・運営は下黒坂自治会が行い、地区外の人にも利用していただき、交流・地域の活性化を目指しています。



絵馬には、干支のイノシシと招き猫、「大願成就」の文字が



現在は7人のメンバーで活動

木のぬくもり伝える

木のおもちやづくりに表彰状

町図書館を中心に活動している木のおもちやグループ（田口郁江代表）が、12月19日、県教育委員会から表彰されました。

これは、同グループが町図書館に手づくりの木のおもちやを寄贈、貸出しを行う「木のおもちや文庫」や、平成2年から毎月図書館車庫で開いている「木のおもちやづくり教室」など、子どもたちと木のおもちやとのふれあいを支援する取り組みが評価されたものです。

これからの夢を叶えて

中学3年生に絵馬を寄贈

受験シーズンを迎え、それぞれの夢を叶えてほしいと、1月10日、障害者授産施設セルブひの（根雨）の利用者から、日野中学校3年生31人へ手づくりの絵馬がプレゼントされました。

絵馬を受け取った3年生の杉原準基さんは、「これを励みに志望校に受かるよう頑張りたいです」と抱負を語りました。

セルブひの手づくり絵馬は、金持売店でも販売され、まちのお土産品にもなっています。